

海の底に 草原をつくる プロジェクト

二海
KIDS
今治海キッズクラブ
倶楽部

今治の「海」の抱いた手を
育成する事業です。

日本
財団
海と日本
PROJECT

このイベントは、
海と日本PROJECTの
一環で実施しています

海洋教育を活かした持続可能なまちづくり/海に興味のある小・中学生募集

開催日

2024.6.1(土)

雨天決行
荒天中止

開催時間

12:30~ 受付 13:00~17:00

集合場所

は一ばりー1Fホール

参加対象

今治市内小中学生30人
(※保護者の方も一緒にご参加ください)

時間割

12:30 受付開始
13:00 開会式
バス移動
14:30 花枝採取(今治市吉海町幸港)
幸港清掃
水中ドローンにてアマモ場観察
17:00 解散予定

参加料
無料
(事前登録
が必要)

主催/特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター
tel 080-3168-7681 mail: icpc@major.ocn.ne.jp
後援/今治市・今治市教育委員会



事前予約が必要となります。
予約用QRコードを読み取り
必要事項を明記の上予約ください。



今治アマモプロジェクト 海の底に草原をつくろう



アマモ（海藻）とは・・・

海草の一種で、波が穏やかな、太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生えます。アマモがたくさん生えている場所を「アマモ場」と呼びます。「アマモ場」は小さな魚の隠れ処になったり、魚の産卵する場所になります。そのため、「海のゆりかご」とも呼ばれます。しかしアマモは姿を消してしまいました。



1 アマモの役割 海をキレイにする

二酸化炭素を吸収・固定し、生き物に大切な酸素を作る。
海底がキレイになり、赤潮が発生しにくくなる。

生き物を守り育てる

いろいろな生き物の住み家になり、隠れ場になる。
魚などへの餌の提供。生き物の卵を産む場所になる。

2 カーボンニュートラル

世界では様々な気象災害が発生しており、今後日本においても、生態系・災害・産業・経済活動等へ影響が出ると言われています。気候変動の原因となっている温室効果ガス（二酸化炭素が76.7%）は、経済活動・日常生活に伴い排出されています。将来も安心して暮らせる持続可能な社会をつくるため、排出量と吸収量を均衡させ、その排出量を「実質ゼロ」に抑えるカーボンニュートラルの実現に向けて、取り組む必要があります。

3 ブルーカーボン

アマモ場と干潟は、二酸化炭素を吸収・固定し、地球温暖化の影響を緩和すると期待されています。

陸上の生物によって貯蔵される炭素を「グリーンカーボン」と呼ぶに対し、海洋の生物によって貯蔵される炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれています。



イベント参加の注意事項

- ・今治アマモプロジェクトは種取り（7月）種まき（11月）発表（3月）等を予定しています。
なるべくすべての会に参加していただき、アマモの成長過程を見届けていただける方を募集します。
- ・損保ジャパン日本興亜のレクリエーション保険に加入しております。
- ・当日は、スタッフ、マスコミによるイベントの写真撮影、動画撮影が行われます。
顔が写った写真が掲載されたり、イベントの様子が動画配信されますので、ご了承ください。

主催／特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター
後援／今治市・今治市教育委員会